

「あいさつサケいちりんしゃの五十川小学校」

我が校の誇りを、体育館中央に掲示しています。

本校は、鶴岡市南部の海岸地にあり、50m先は鮭が遡上する五十川、10分歩けば日本海。オニヤンマが入ってくる教室で、元気な挨拶の児童31人と教職員11名が暮らしています。創立137年目を迎え、一時減った児童数が増加しており、行事の際は、児童の数倍の地域の人々が参加してくれるところ。このように、

海・山・川に囲まれ温かく協力的な地域の人々など、素晴らしい教育環境に恵まれています。今年、近くに高速道路ができましたが、許可をもらい、開通前の路上で全校の長縄跳びをし、開通式では、児童代表が県知事らと一緒に、テープカットする幸運にも恵まれています。

さて、「一輪車」乗りは、本校では上級生



春をさがそう：向かいに五十川と校舎、右手に日本海をのぞむ



民放ラジオ統一キャンペーン「ラジオがやってくる」YBCラジオに生出演

が指導し、自然にできるようになるのが特徴です。入学式やイベントで演技したり、一輪車競技の県大会にも参加したりしています。

次に「サケ」ですが、11月に地元漁協の協力で、遡上した鮭から採卵し受精させ、その後飼育小屋で孵化、稚魚を飼育します。稚魚が必死になって卵から出てくる様子は、大きな感動です。正月も休まず餌をやり、成長して4~5cmになった約6,000匹の稚魚を3月に川へ放流しています。

また、小規模校の特色を生かし、全校を縦割り班で構成し、清掃や給食当番、運動会、学校祭での演劇や児童会主催のゲームなど班対抗で競い合うなど、「つよく やさしく かしこい子ども」を目指して頑張っています。



鮭の稚魚の放流「大きくなって帰っておいで」の願いとともに



「いざ！漁場へ」漁業体験学習

小中いっしょに認め合うところで

地域の中で小中ひとつに

本校は、小学生28名、中学生14名計42名の小中併設校です。角川の豊かな自然に囲まれ、地域と学校がしっかり結びついた活動を展開しています。また、併設校になってから14年目を迎え、小中交流も盛んで、みんなの心が一つになって教育活動が進んでいます。

小中合同通学合宿

学校と地域が協力して「ふるさと委員会」という組織を作り、通学合宿を実施しています。7月に、放課後から次の日の朝の登校まで生活を共にする合宿が、3つの地区公民館で4泊5日の日程で行われます。夕食や朝食を小学生と中学生と一緒に作り、婦人会の方が見守ります。夜には地域の方のご協力でもらい湯に出かけます。このような生活の中で、子どもたちは、集団の中で人と関わる力を育てています。



小中合同通学合宿：自分たちと一緒に夕飯作り

小中交流活動

学校の中では、学校行事も小中合同で実施しています。運動会では小中合同種目で力を合わせる競技もしています。その他、地域での清掃ボランティア活動や、給食時には小中交流給食も実施しています。ロング昼休みを使って、生徒会主催の小中交流ゲームなど併設校ならではの交流活動を繰り広げています。

このような活動の中で、中学生は自己有用感をもち、やさしい心が育まれ、小学生は常に中学生に接する中で、目標のイメージ化ができ安心感が生まれています。これからも小中併設のよさを生かし、子どもたちが認め合える、温かな学校に向け活動を進めていきます。



運動会：走れ！絆のフラフープ